

第6学年保護者 様

東庄町立東庄小学校  
校長 木内 史紀

### 全国学力・学習状況調査の考察と今後の取り組みについて

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校教育の推進・充実のために、ご理解・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、4月18日（木）に6年生を対象として行われました全国学力・学習状況調査の考察と今後の取組について配付します。

各家庭におかれましては、考察と今後の取組を踏まえて学習内容の振り返り、家庭学習の習慣化などに活用していただければと思います。学校といたしましては、調査の結果を積極的に分析し、職員の指導方法の改善及び児童の個別指導の充実等、今後の指導に生かしていきたいと考えております。

#### <学校質問調査>

- 各教科において、日常的にタブレット等のICT機器を活用しての授業実践を行っていることから、ICTの活用した学習状況の項目が他の項目より高かったです。
- 家庭や地域との連携等の質問項目においては、学校行事や校外学習、各授業などで家庭や地域の方々を活用して学習活動を行っていることで他項目より高かったです。

#### <児童質問調査の結果>

- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」の質問に対して、他の項目に比べて高いです。90%の児童が地域に役立ちたいという思いをもっています。児童は、地域の行事に積極的に参加したり、家庭と地域を連携した授業を行ったりしていることが考えられる。
- 生活習慣、学習習慣の項目は他と比べて低い傾向にあります。生活習慣については、起床時刻、就寝時刻が定まらない児童が全体の10%から25%います。学習習慣については、家庭での学習時間が1時間以下の児童が多いです。家庭でのテレビゲーム、動画視聴の時間が1時間以上の児童が多くいます。

#### <全国学力・学習状況調査の結果を受けての取り組みについて>

- 8時00分～8時10分の活用した取組を継続的にを行っています。月・水は読書、火・金曜日はチャレンジタイムとして、漢字・計算等の問題に取り組んでいます。
- 学校全体で学期に1回、校内漢字・計算テストを行い、学習意欲の向上と基礎・基本の定着を図っています。
- 主体的・対話的で深い学びの授業実現に向けて、より一層の教材研究や授業改善などを進めていきます。
- 国語の授業実践については、意見文や物語文など様々な形の文章を書く学習を行っています。他教科では、調べたことや考えたことを、タブレット端末を活用し、プレゼンテーション資料にまとめ、発表する学習を行っています。
- 算数の授業実践では、電子黒板とデジタル教科書を活用し、問題を視覚的に捉えやすくするようにしています。単元に応じて、自力解決の時間を十分に確保し、自分の考えを書き、発表する学習を充実させていきます。
- 家庭学習の習慣化を図る取組を行っています。発達段階に応じた家庭学習カードを活用しています。自学（学年×10分）の取組を奨励しています。ご家庭での声かけをお願いします。
- 図書委員会を中心に「図書祭り」の実施、読み聞かせやクイズなどを行い、読書活動の推進を図っています。